



2022年4月28日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬
(コード番号 3034 東証プライム)
問い合わせ先 取締役 富 樫 豊
T E L 03-6430-9060

「サステナビリティ委員会」の設置および 「マテリアリティ（重要課題）」の特定に関するお知らせ

当社は、2022年4月28日開催の取締役会において、持続可能な社会の実現に向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、取締役会の諮問機関として当社取締役会の下に代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置することを決議いたしました。あわせて、同日開催の取締役会においてマテリアリティ（重要課題）の特定をいたしましたのでお知らせいたします。

1. サステナビリティ委員会設置の目的

当社グループは、「わたしたちは、すべての人の、クオリティ オブ ライフに向きあいます。いつでも、どこでも、あなたに。」の企業理念のもと、全国に安心した医療をお届けすることを使命とし、健康で豊かな持続可能な社会の実現に向け事業を推進しております。地域社会に欠かせない医療インフラとして、患者さまとともに持続可能な社会の実現を目指し、当社グループのサステナビリティ活動をさらに推進するために、サステナビリティ委員会を設置いたしました。

2. サステナビリティ委員会の構成と役割

サステナビリティ委員会は、代表取締役社長を委員長とし、取締役および各部門の責任者を中心に構成されております。同委員会では、クオールグループのサステナビリティに関する方針の策定や活動目標の決定・進捗管理を行います。また定期的に取り締役に同委員会の活動・進捗状況を報告してまいります。

3. 重要課題（マテリアリティ）について

別紙参照ください。

以上

別紙

マテリアリティ（重要課題）

マテリアリティ	テーマ
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の低減 ・自然エネルギーの積極活用 ・医薬品の廃棄削減 ・CO2 排出量の低減
地域の クオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出 ・医療従事者への支援 ・次世代への教育支援 ・高齢化社会への対応 ・地域コミュニティへの貢献 ・市民向け講座の実施
従業員の クオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティの推進 ・人財開発の促進 ・ワークライフバランス推進 ・福利厚生、労働環境の多様化 ・DX 推進による人財の有効活用
持続的な医療による クオリティ オブ ライフ貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーン管理の強化 ・医療継続を実現する組織力の強化 ・総合ヘルスケア支援の強化
新しい医療価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ事業展開 ・医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出
コーポレートガバナンスの 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会の実効性強化 ・コンプライアンス強化 ・適切な情報開示と透明性の確保 ・情報セキュリティの強化 ・BCP の確立